

上町しぜんの玉

園だより | 4月号 2022.4.15

受け継がれる恐竜 (2022.3.23 木村記)

H、Aちゃんとは恐竜ごっこをしていたけれど、今日はHFちゃんも参戦!! 遠くから睨んでいる目線を感じる。

そしてゆっくりどっしん、どっしんと歩み始める、HFちゃん。

それはそれは、Aちゃん恐竜とそっくり!!

いつもまじッていなようだったけれど、近くで見ていたみたい。こうやって遊びが受け継がれていくんだな、と実感しました。

4月の予定

子どもの声が聞こえてきたら

青山 誠

このコーナーでは保育者が書くエピソードから、園長の青山がセレクトして、その時期の子どもたちの様子や感じたことをお伝えします。

新しい年度が始まり、上町しぜんの国保育園にもあらたな仲間が増えました。他の保育園のように、学年があがり大きなクラス替えや担任変更はないので、昨年度からいる子もそこまでおおきなざわつきはないものの、やはりそわそわする4月です。ましてや、はじめてこの園に来た子は心揺れる時期でしょう。Kさん（保育者）のエピソードから。

今日は初めての日。着いてからすぐには絵本を読み始めるRくん。ママの姿が見えなくなつてから、うわあーんと泣き出した。

初めての環境に、初めての人。きっと前に保育園に通っていたとはいえ、いつもと違う感じに戸惑つただろう。私は大きな声で泣くRくんの背中をさすった。

少し声が緩んできたところで、話してみる。「今日からよろしくね。一緒に過ごす、あかりちゃんだよ。」

泣き続けるRくん。私はまた背中をさする。「抱っこしてもいい？」そう聞いたら首を振った。「絵本読む？おばけの絵本だよ」と、声の調子を変えていくつてみるが、また首を振る。たくさん泣いていいよ、と思いながら、しばらく背中をさすっていた。

すると、泣いている音がどんどん弱くなつていく。

「ちょっと保育園、さんぽしてみようか」と誘うと、Rくんは立ち上がった。私は手を差し出してみた。すると、Rくんの手が、私の手をぎゅっと握ってくれた。

その後は朝おやつをKKくんちで食べた。Rくんとちゃぶ台でお煎餅を食べていると、自然と周りの子たちもやってくる。Rくんも段々と表情が和らいでいく。ちょっと私の心も和らいでいった。

Rくんの手は柔らかくて、あたたかくて、やさしかった。その繋いでくれたRくんの手は今でも感じられる。明日からまた一緒に、いっぱい遊ぼう。

(2022.4.4 K記「Rくんのて」より)

上町ではおとなことを「先生」と呼びません。その意図は、「先生」として上に立つではなく、こんなふうに心に触れるときにも、「抱っこしてもいい？」とちゃんと了解を得る、おとな同士なら普通に行うことを、子どもともていねいにしていくということです。子どもは小さいけれどちゃんとひとりの人ですから。こういうやりとりを積み重ねて、子どもたちに「安心」を感じてもらえるようにしていけばと思います。

では子どもは子どもをどのように受け入れているのでしょうか。Yさん（保育者）のエピソードから。

Kくんがやって来て、今日で3日目。Kくんと私が関わっていると、そこへまずやって

来たのはKN。「Kくーん！」と言いながら、Kくんの頭の近くへ座り、顔を近づける。

KN:「なんか、いいにおいがする～！」
Kくんの顔にそっと添えるKの手が、とても柔らかく見えた。続けてやって来たのはH。

KN:「このこが、Kくん？」
Hの口調がいつもとは違う。優しくて甘くて…私はそんなHの喋り方を初めて聞いた。

H:「みみ、ちっちゃーい！」
自分の耳をKくんの耳にくっつけ、大きさ比べをする。（…が、自分では大きさ比べが見えないひびき笑）すると今度は手を合わせてみる。

H:「ても、Hよりちっちゃーい！」
HとKNが関わっている間、Kくんは終始手足を動かして応えていた。2人の優しい関わり、そして目線を合わせた関わりが嬉しかったんだろうな。

私は、Kくんを囲んでいる2人の表情に、なんだか見惚れてしまった。どこかキリッと

した頬り甲斐のある表情のKN。とろけてしまいそうなくらい、優しい表情をしているH。ああ1番目になったんだな～とも、この瞬間に思った。

2人にとって、Kくんが“赤ちゃん”だということは、もちろん分かっている。その上の優しい関わりだったのだろう。だけど、そんな関わりの中から、五感を使って色々なことを感じ、気付きをもっていた。

また、Kくんに対して、“赤ちゃん”という理解で終わらせるのではなく、Kくんってどういう子なのかを知ろうとしているように私は感じた。そして、それを嬉しく思った。これからKくんの成長とともに、2人の気付きもきっと増えていくことだろう。楽しみだな。

Kくんも含め、この瞬間の3人のそれぞれの表情が私は好きだ。

(2022.4.6 柳下記「Kくんを囲んで」より)

赤ちゃんというやわらかな存在をあたたかく、やわらかく受け入れている様子が見て取れます。子どもってたいしたものでしょう。ちゃんと相手の存在を感じて、こんなにもうれしく受け入れてくれるのです。こうした日々のなかで、おとなから言われて「いい子」になるのではなく、相手を感じて尊重していく、きっとそんなふうに育っていくのだと思います。これからますます楽しみです。

上町しぜんの国 キッチンより



上町しぜんの国保育園の食について

献立のはなし 八百屋さんから納品される野菜にも新物が増えてきました。保育園での食事では、旬の食材や素材の味を活かしたメニュー作りを心がけています。食べなれない食材や料理はなかなか手が出ないことがあるため、2週間のサイクル献立を取り入れています。また、毎年登場する季節ごとの定番料理もあるので、ここでのお気に入りの料理が増えてくれたらいなと思っています。おいしかった！と言っていたメニュー、作り方を知りたい！など、キッチンスタッフまで教えていただけたら嬉しいです。

◎1日における保育園の食事の割合

昼食：30% おやつ：20% + 朝おやつ：5～10%

合計：約50～60%（乳児：555kcal 幼児：637kcal）

喫食量には個人差がありますが、お家での食事とのバランスの参考にしてください。

食の営みのはなし 食は生活の一部として、保育園での日々の暮らしの中で様々な食の営みを行っています。季節ごとの保存食づくりとして、4月は大きい子と一緒に味噌作りを行います。また、近隣にお借りしている畑も種まきの時期を迎えていました。なばなが最盛期でまだ花の咲いていない穂先を摘み取り、いただきました。

– キッチン山崎



キッチン旬だより

【なばな】

春の訪れを告げる野菜に“なばな”があります。菜の花のつぼみと花茎、若葉を総じてなばなと言います。ビタミンCの含有量は野菜の中でもトップクラス。独特の苦みは老廃物を排出する機能があるため冬から春にかけて積極的に摂りたい野菜です。苦みを抑えるためには、さっと茹でたり、油との相性がいいのでマヨネーズやごま油で和えるのがおすすめです。保育園では、“なばなと白菜のおひたし”にしました。かつおと昆布でしっかり出汁をとり、しょうゆで味付けて浸しておくだけ。春を告げる定番メニューになりそうです。



保健だより

新年度に変わり、1週間。

新しい赤ちゃんたちの出会いとともに園内が活気に溢れています。

新しく入ったお子さんもそうですが、すでに在園のお子さんたちも、3月までの雰囲気とはまた違った様子に緊張したりしていると思います。

ついこの間までお姉ちゃんと、お兄ちゃんと一緒に登園だったのに？なんで？

上のお子さんが小学校にあがって一緒じゃなくなったことに少し戸惑ってしまう様子のお子さんや、少し寂しさを感じているお子さんもいることと思います。

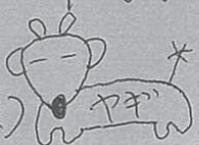
大人もそうですが、環境が変わることで体や心が少し疲れちゃうこと、ありますよね。体調を崩してしまったら無理をさせないようにしてください。

お子さんの様子に気を配りながら、こちらも見ていきますが、お家で何か気づいたことなどあれば教えてくださいね。

– 看護師 通山

職員 の声

新しく入職しました、やまくちの
やまとさんです！ 女性な食べ物は
ラーメン、といふ…お酒も好きです(笑)
飲み屋でたくさんあるといい有名な、
横浜の野毛で生牡蠣育てました。

これからまたお話しをよ
こせ、樂いやすいです。よろしく
お願ひします。(*
(※結構下手です。笑) 

はじめまして、板垣佑希です。
今年度から上町西の国保育園の
職員になりました。なごくみちゃんの担当です。
よろしくお願ひします。
温泉や銭湯が好きで、休日の日に
行っています。オススメの場所が
あれば、是非教えて下さい。

私と言えば”食べ物の話ばかり”
なので、最近ちらりと趣味の
お話しを…といったのです。バ
结局、思い浮かばず…。たゞ、
最近、紅茶や煎茶にも興味があり
「罄日炎茶研究所」へ行ってきました！
所長は美しく優雅で
いらっしゃいました！ 

1歳7ヶ月の息子は
電車と踏切が大好きです。
電車をみると「でー!!」と叫んでいます。
先日、馬鹿のホーひで、車掌さんから
電車カードをもらいました。息子は
大喜び!! 私もHAPPY!!
気持ちいいよ!!
モッキンあかね